

# アレルギー治療、新たな時代へ

## 【第一部】講演

### アトピーはきっと良くなる

おおつか あつし

大塚 篤司 先生

近畿大学医学部皮膚科学教室 主任教授



### アレルギー治療、新たな時代へ!小児食物アレルギー

いまい たかのり

今井 孝成 先生

昭和大学医学部小児科学講座 教授



### 気管支ぜん息治療の新たな流れ ～新規配合剤と生物学的製剤による治療～

ほうじょう まさゆき

放生 雅章 先生

国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 診療科長



## 【第二部】Q&A

参加者の皆さんからのご質問に講師がお答えします。申し込みの際に質問をご記入ください。当日チャットでの質問も受け付けます。

### 司会

さかもと よしお

坂本 芳雄 先生

ふれあい横浜ホスピタル院長

えとう たかふみ

江藤 隆史 先生

東京通信病院皮膚科客員部長・あたご皮フ科副院長

やまぐち まさお

山口 正雄 先生

帝京大学ちば総合医療センター第三内科(呼吸器) 教授

### 後援

厚生労働省

東京都

公益社団法人日本医師会

日本臨床皮膚科医会

独立行政法人環境再生保全機構

公益財団法人日本アレルギー協会

一般社団法人日本アレルギー学会

一般社団法人日本小児アレルギー学会

公益社団法人日本皮膚科学会

### 申し込みはこちら

・申し込みフォーム→

申込締切:5/20(金)17:00

・当会ホームページ

<http://allergy.gr.jp/archives/2300>



### 主催/お問い合わせ先

#### 認定NPO法人日本アレルギー友の会

東京都江東区住吉2-6-5 インテグレート村上3階

毎週火曜日・土曜日 11:00から16:00(祝日除く)

TEL: 03-3634-0865 FAX: 03-3634-0850

ホームページ: <http://allergy.gr.jp/>

email: [info@j-allergy.or.jp](mailto:info@j-allergy.or.jp)

# 講演内容

## アトピーはきっと良くなる

おおつか あつし

大塚 篤司 先生 近畿大学医学部皮膚科学教室 主任教授

### 【講演内容】

アトピー性皮膚炎の治療は近年、急速な発展を遂げています。新薬が数多く登場し、患者さんにとってはわかりにくい部分も増えたことと思います。本講演では、新しくわかってきたアトピー性皮膚炎の病態と最新の治療法、また自宅でできる対処法などを紹介したいと思います。講演を聞いて「アトピーは良くなる」と感じてもらえたら幸いです。

### 【経歴】

2003年3月	信州大学医学部卒業	2011年	学術振興会特別研究員 (PD)
2003年4月	京都大学皮膚科にて研修	2012年10月	チューリッヒ大学病院皮膚科 客員研究員
2004年	島根県立中央病院皮膚科	2014年10月	京都大学医学部皮膚科 助教
2006年	京都大学大学院医学研究科博士課程	2015年9月	京都大学医学部付属病院メラノーマユニットリーダー
2010年4月	京都大学医学部 次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点 (AKプロジェクト) 特定研究員	2015年12月	京都大学医学部皮膚科 院内講師
		2017年4月	京都大学医学部 外胚葉性疾患創薬医学講座 (皮膚科兼任) 特定准教授
		2021年4月	近畿大学医学部皮膚科学教室 主任教授

## アレルギー治療、新たな時代へ!小児食物アレルギー

いまい たかのり

今井 孝成 先生 昭和大学医学部小児科学講座 教授

### 【講演内容】

食物アレルギーの診療は臨床研究の発展に伴い劇的な変化を遂げ、朝令暮改ともいえる状況にあります。その進歩に合わせて、昨年ガイドラインが改訂されました。完全除去指導は遠い昔、予防戦略も変わり、今や積極的に摂取することが勧められる時代になってきています。しかしいまだ、適切な診療が幅広く行われている状況にあるわけでもありません。講演では、限られた時間でできる限りの情報提供をしたいと思います。

### 【経歴】

1996年3月	東京慈恵会医科大学医学部 卒業	2018年4月	昭和大学病院 小児医療センター センター長
1996年5月	昭和大学医学部 小児科学講座 入局	2018年7月	昭和大学医学部 小児科学講座 准教授
2004年7月	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科	2019年8月	昭和大学医学部 小児科学講座 教授
2012年4月	昭和大学医学部 小児科学講座 講師		

## 気管支ぜん息治療の新たな流れ ～新規配合剤と生物学的製剤による治療～

ほうじょう まさゆき

放生 雅章 先生 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 診療科長

### 【講演内容】

ぜん息治療はこの5年で大きな進歩を遂げました。治療の中心となる吸入ステロイド薬は他の2種類の気管支拡張薬との配合剤が発売となり、通常の治療でも症状がコントロールされる患者さんが飛躍的に増えました。それでも改善しない難症患者さんでも、サーモプラスティ (BT) 治療や生物学的製剤の進歩により、普通の人と変わらない生活を送れるようになりつつあります。これらの治療について最新のトピックスをお話したいと思います。

### 【経歴】

1987年	北海道大学医学部卒業	2010年	国立国際医療研究センター国府台(こののだい)病院呼吸器内科科長
	国立病院医療センターにて初期・後期研修	2013年	国立国際医療研究センター病院第2呼吸器科医長
1992年	国立国際医療センター国際協力局派遣協力課厚生技官	2016年	NTT東日本関東病院呼吸器センター長
1995年	カナダ・マギル大学ミーキンス・クリスティ研究所研究員	2019年	国立国際医療研究センター病院呼吸器内科診療科長
2002年	国立国際医療センターアレルギー科医長		

## ご参加にあたって



PCまたはスマホがあればどこからでもご参加いただけます。スマホの場合はWiFi環境があることをご確認ください。



当日参加できなかった方は、後日動画配信をいたしますので「5月22日講演会動画希望」と氏名、メールアドレスをご記入いただき当会メールアドレスまでご連絡ください。



Q&Aでは、お申し込み時にいただいた質問に専門医がお答えします。時間の都合上、全てのご質問にお答えできないことがありますのでご了承ください。